

第1回 現地調査（まちあるき）の企画

1. 現地調査の目的

多様な視点で、現地を歩くことで、バリアの確認や改善策の提案等の意見を収集し、計画に反映する基礎資料とする。

2. 実施地区

山陽林崎松江海岸駅周辺地区（基本構想策定予定）

3. 実施時期

7月上旬頃（詳細は別途連絡）

4. 参加者

協議会委員・市内団体関係者・ユニバーサルモニター等 30名程度を想定

5. 当日の流れ

① 集合

② 調査ルート・調査方法等の説明（20分程度）③ 現地調査（60分程度） * 駅舎班、歩道班、総合福祉センター班等を想定④ とりまとめ（40分程度） * グループで発見したバリアを整理し、参加者全員に発表